

石見銀山基金事業の選定結果について

○選定結果

認定事業に2団体、審査事業に5団体を選定委員会（委員長 井上定彦氏）により、公開プレゼンテーションを行った。選定された結果、7団体が採択された。

以下に資料を付けております。

- ・選定委員会委員名簿
- ・石見銀山基金事業のリスト
- ・石見銀山基金事業の審査表（結果表）
- ・選定基準

■ 石見銀山基金事業選定委員会委員名簿

区分	氏名	職業・所属団体・役職	備考
学識経験者	井上 定彦	島根県立大学 教授	
	渡邊 一正	NPO 市民文化財ネットワーク鳥取 理事長	
	高須 佳奈	島根大学 特任講師	
石見銀山基金 募金委員会	梅 恒雄	大田商工会議所 専務理事	
行政	祖田 浩志	島根県教育庁文化財課 課長	
	蓮花 正晴	大田市 副市長	

■ 石見銀山基金事業 認定事業リスト

グループ	申請団体名	事業概要・効果
石見銀山を守る活動	大森町自治会協議会	<p>8月、9月、11月に遊歩道、石見銀山史跡、大森町内の草刈り・ゴミ拾いや、翌年の2月には大森町内の桜の剪定を行う。</p> <p>それにより、来訪者を気持ち良く安全に受け入れられ、環境美化の意識が高まり、リピーターにつながることを期待できる。</p> <p>また、子ども一緒に参加するので、次世代へ引き継ぐ活動となる。</p>
	特定非営利活動法人 まち・ゆめ応援団	<p>8月から11月頃にくし山城跡付近や沖泊港付近の漂着物処理及び草刈りと石見銀山街道温泉津地区の保全整備を行う。</p> <p>それにより、世界遺産の価値感を高めより多くの観光客に良いイメージを与え地域団体と協力することで住民の世界遺産への理解・意識向上が期待できる。</p>

■ 石見銀山基金事業 審査事業リスト

グループ	申請団体名	事業概要・効果
石見銀山を活かす活動	石見銀山ガイドの会	宇津戸から大阪までバス・徒歩・船で行き、大阪の銀座があった長堀橋付近を終点とする事業を行う。それにより、世界遺産「石見銀山」に対する関心を高めてもらい、理解を深め、再度訪問してもらえるような地域活性化へつながっていくと期待できる。
	大田市観光協会	宿泊・温泉マップ及び季節イベント・名所マップを作製する。それにより、石見銀山付近にある宿泊・温泉が数多くあることをPRでき、花の名所や季節ごとに行われるイベントを知れ、石見銀山を中心とした大田市内の周遊・滞在型の観光促進が期待できる。
	石見銀山とポルトガルを結ぶ会	石見銀山とポルトガルのゆかりを訪ねる集いを開催する。三部構成で基調講演、パネルディスカッション、記念コンサート(ポルトガル伝統音楽の演奏)を行う。それにより、世界につながる石見銀山の魅力を体感し、石見銀山に対して新たな視点をもてることに期待できる。
	「石見銀山の魅力を伝え、活かす」会	石見銀山遺跡に縁のある市人会などの東京在住者や地元の有志、石見銀山に関する演目を有する大屋神楽、市内事業者などが集まり、丸ビルにて世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」のPRを行う。それにより、世界遺産・石見銀山について東京で知ってもらえ、様々な相乗効果が見られ、石見銀山に縁の市民、出身者のアイデンティティの確立にも期待できる。
石見銀山を伝える活動	石見銀山とりむし・はなの研究会	世界遺産石見銀山のエリアにおける動植物分布調査と普及・広報活動をする。それにより、動植物の宝庫である環境を来訪者や次の世代に伝えられ、また地域住民も価値を再認識する機会にもなり、伝え方を工夫すれば観光資源としても期待できる。

■ 石見銀山基金事業選定委員会 認定事業審査表

グループ	申請団体	認定すべき	認定すべきでない
石見銀山を守る活動	大森町自治会協議会	○	
	特定非営利活動法人 まち・ゆめ応援団	○	

■ 石見銀山基金事業選定委員会 審査事業審査表

グループ	申請団体	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員	合計	採否	備考
石見銀山を 活かす活動	石見銀山ガイドの会	15	15	22	19	18	20	109	○	条件付き 採択
	大田市観光協会	29	22	21	24	19	21	136	○	条件付き 採択
	石見銀山と ポルトガルを結ぶ会	27	19	18	21	20	24	129	○	条件付き 採択
	「石見銀山の魅力を 伝え、活かす」会	30	24	15	23	19	22	133	○	条件付き 採択
石見銀山を 伝える活動	石見銀山とり・むし・ はなの研究会	26	23	24	22	24	25	144	○	条件付き 採択

※総得点の6割（108点）以上の点数を獲得した団体から、獲得点数の高い順に審査事業に選定します。

■ 選定基準

選定委員会は、次の評価項目について審査し、その総得点の6割（108点）以上の点数を獲得した団体から順次、獲得点数の高い順に選定事業に選定します。

（1）評価項目及び評価の着眼点

評価項目	評価の着眼点
①継承性	I 地域共通の課題の存在を認識し解決を図る取組か。 II 未来の世代に良好な地域環境や地域社会をもたらす取組か。 III 目的を共有する誰もが参加できる開かれた組織による取組か。 IV 石見銀山の新たな価値を見出し、地域への誇りを醸成する取り組みか。
②必要性	I 社会情勢に応じてニーズが高い事業か。 II 取り組む必要性が明確な事業か。
③公益性	広く地域、社会に貢献する活動か。
④発展可能性	I 今後、その成果の広がりを期待できる活動か。 II 次世代の育成につながる活動か。 III 今後、継続して取り組める体制、計画か。
⑤実現可能性	実施体制、事業計画、資金計画、スケジュールなど実現可能な活動か。
⑥費用の妥当性	活動の内容に見合った経費見積もりとなっているか。

（2）評価方法

（1）の評価項目毎に別に基準を設けて、5段階評価で行います。

（最高点：6項目×5点＝30点）